
第1話 発見 やっと会えたね・・・

かな

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

第1話 発見 やつと会えたね・・・

【Nコード】

N7506I

【作者名】

かな

【あらすじ】

やつと黒の組織のアジトを見つけた。灰原は組織につかまり大ピンチ？

コナンは、はたして組織の悪事をはらせるのか？ 新一と蘭の恋の行方も大注目？

新一がいなくなってもうすぐ1年がたつ。蘭はそう思いながらも空手の練習にはげんでいた。蘭「たくー 新一ったらいつ帰ってくるのかしら」 蘭は新一がいなくなった時を思い出した。

(回想)

蘭「うっうっうっ」(泣)

「

新一「おい いい加減なくなよー。ん？あいつ事件の時の怪しいやつ・・・蘭、悪い先帰っててくれ！すぐ戻ってくからよ・・・」

蘭「あいつど

うしてるかな・・・」

一方その

ころ阿笠邸では・・・

コナン「おい 灰原ーいつになったら解

毒剤できんだよー」

灰原

「ちよっと いい加減にしてくれる？ 私が組織の一員だったからってそうすぐにはできないわよ(怒)」

コナン「へいへい」

灰原「で？ あの子にはだれて

ないの？」

コナン「あの子って蘭のことか？ ああばれてないよ」

灰原「そう ばれないようにせいぜいがんばってね」

コナン「にやるー やべ！もうこんな時間だ！ 蘭に怒られる！」

毛利小五郎探偵事務所

p m 6時50分

蘭「もう なにやってたのよ？ コ

ナン君心配したんだからー」

コナン「ごめんなさい 博士のうちでゲームやってたんだ。」

蘭「もう 全く子供なんだから」

コナン（子供じゃねーよ）と思いながら夕飯を食べた。

翌日

蘭「ねえ コナン君？ 園子がパーティー開くんだって いくでしょ？」

コナン「う、うん行く行く」（またかよ・・・） これでパーティーは3回目だ。それも全部園子主催。

蘭「わぁー すごいきれいだね。コナン君」

コナン「ほんとだーすごい！」 コナンは窓の外を見た。その下にはなんとジンの愛車ポルシェ356A

が止まっていたのだ。コナンはすぐに下に行った。

蘭「ちよっ、ちよっとコナン君？」

小五郎「おいこらばうずどこへいくー」 コナンはそんな言葉は耳に入んなかった。

あつと言つ間に車についた・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7506i/>

第1話 発見 やっと会えたね・・・

2010年10月21日16時08分発行